

## 水戸市雨水排水施設整備プログラムの第2回中間見直しについて

### 1 進捗状況

「水戸市雨水排水施設整備プログラム」（以下「本プログラム」という。）は、総合的な雨水対策により、浸水被害箇所的大幅な減少を目指すものとして、平成27年度に策定しました。

本プログラムは、平成25年度までに市内で確認された215箇所の浸水被害箇所を、令和5年度までに120箇所に減少することを目標に掲げ、平成26年度から令和5年度までに、127箇所の浸水被害対策が完了したところです。

しかしながら、近年多発する局地的な大雨や線状降水帯による集中豪雨、宅地化による土地利用状況の変化等に伴い、平成26年度から令和5年度までの10年間で、新たに91箇所の浸水被害が確認されたことから、令和5年度末時点の浸水被害箇所数は179箇所となっております。

(単位：箇所)

区分	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	目標値	差
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5		
総被害箇所数	215	241	252	272	275	278	293	293	299	302	306	-	-
新規被害箇所数		26	37	57	60	63	78	78	84	87	91	-	-
対策済箇所数		14	30	49	65	74	83	98	107	115	127	-	-
残被害箇所数	215	227	222	223	210	204	210	195	192	187	179	120	+ 59

※表中の数値は累計値です

表-1 浸水被害箇所の対策状況

### 2 見直し内容

#### (1) 本プログラムの期間延長について

浸水被害箇所は、未だ市内各所に多数存在しており、今後も、多発する局地的な大雨や土地開発等によって、新たな浸水被害箇所の発生が予想されます。そのため、これまで以上に計画的かつ継続的に雨水対策に取り組んでいく必要があることから、令和5年度に策定した「水戸市第7次総合計画」において、全国的にも計画策定が推進されている「雨水管理総合計画」の新規策定を位置付けました。

この「雨水管理総合計画」策定の前段では、公共下水道における計画規模の降雨に加え、想定最大規模降雨等の照査降雨など、複数の降雨を対象とした浸水シミュレーションを実施し、主に市街地での浸水リスク評価を行うこととしております。なお、浸水シミュレーションの実施に当たっては、過去の降雨情報や下水道管等の膨大な情報を処理する必要があり、浸水シミュレーションの成果となる「内水浸水想定区域図」が完成するまでに、約2年を見込んでおります。

さらに、浸水シミュレーションの成果を踏まえて行う「雨水管理総合計画」の策定には約3年を要すると見込んでおり、現時点では「雨水管理総合計画」の施行開始を令和11年度としています。

これらのことから、令和5年度までとしていた本プログラムの計画期間を、次期計画とな

る「雨水管理総合計画」施行に合わせ、令和10年度まで延長することとしました。(表-2)  
 変更前 平成27年度から令和5年度まで (9年間)  
 変更後 平成27年度から令和10年度まで (14年間)

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
雨水排水施設整備プログラム 〔現計画〕	計画期間	計画期間延長 (雨水管理総合計画施行まで)					
浸水シミュレーション実施 (内水浸水想定区域図作成)	区域図作成						
雨水管理総合計画 〔次期計画〕				<雨水管理総合計画策定> 〔雨水管理方針〕〔段階的対策計画〕			【施行】
						意見公募手続等	

表-2 次期計画「雨水管理総合計画」策定までのスケジュール

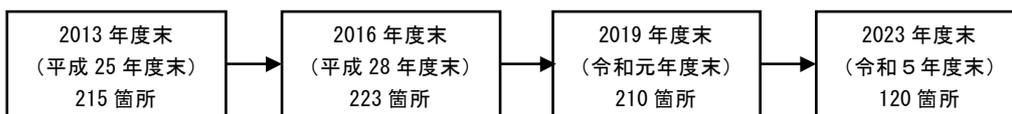
## (2) 期間延長に伴う目標水準の変更について

本プログラムの期間延長に伴い、令和10年度末の浸水被害に対する目標水準については、これまで進めてきた雨水管の整備による「流す」対策に加え、流末の確保及び河川への負荷軽減も考慮した「貯める」対策も取り入れながら、第7次総合計画の前期目標水準と合わせた140箇所としました(図-1, 表-3)。

### 【浸水被害箇所数】

現況 令和5年度末 179箇所  
 変更後 令和10年度末 140箇所

### 現行目標



### 変更目標 (令和5年度\_第2回中間見直し)

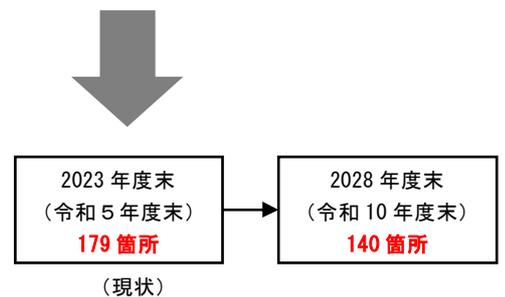


図-1 雨水排水施設整備プログラムの年次計画

【目標水準】

指標	現況 (令和4年度末)	前期目標 (令和10年度末)	期間目標 (令和15年度末)
浸水被害箇所数	187 箇所	140 箇所	100 箇所
冠水による道路通行止めの 箇所数	62 箇所 ※過去5年間における箇所数	50 箇所	40 箇所

表-3 目標水準（第7次総合計画 3-3-2 治水・雨水対策の推進）

(3) 重点地区における対策手法、実施時期の再検討について

本プログラムでは、選択と集中の観点から、市内の浸水被害エリアを重点地区と一般地区に分け、14の重点地区を優先して都市下水路や公共下水道事業による面的整備を行ってきました。しかしながら、近年多発する局地的な大雨や線状降水帯による集中豪雨等によって、浸水被害の著しい重点地区のほか、一般地区においても浸水被害が多発し、これまで表面化していなかった箇所においても、新たな浸水被害が発生しています。そのため、本プログラムの延長期間中においては、重点地区の雨水排水施設整備のほか、浸水被害が拡大している一般地区においても雨水排水施設整備を行ってまいります。

なお、今後の浸水被害対策については、雨水管の整備や排水樋管の新設・改修を行うとともに、「貯める」対策となる大規模な貯留施設の整備を推進するため、国庫補助を積極的に活用してまいります。

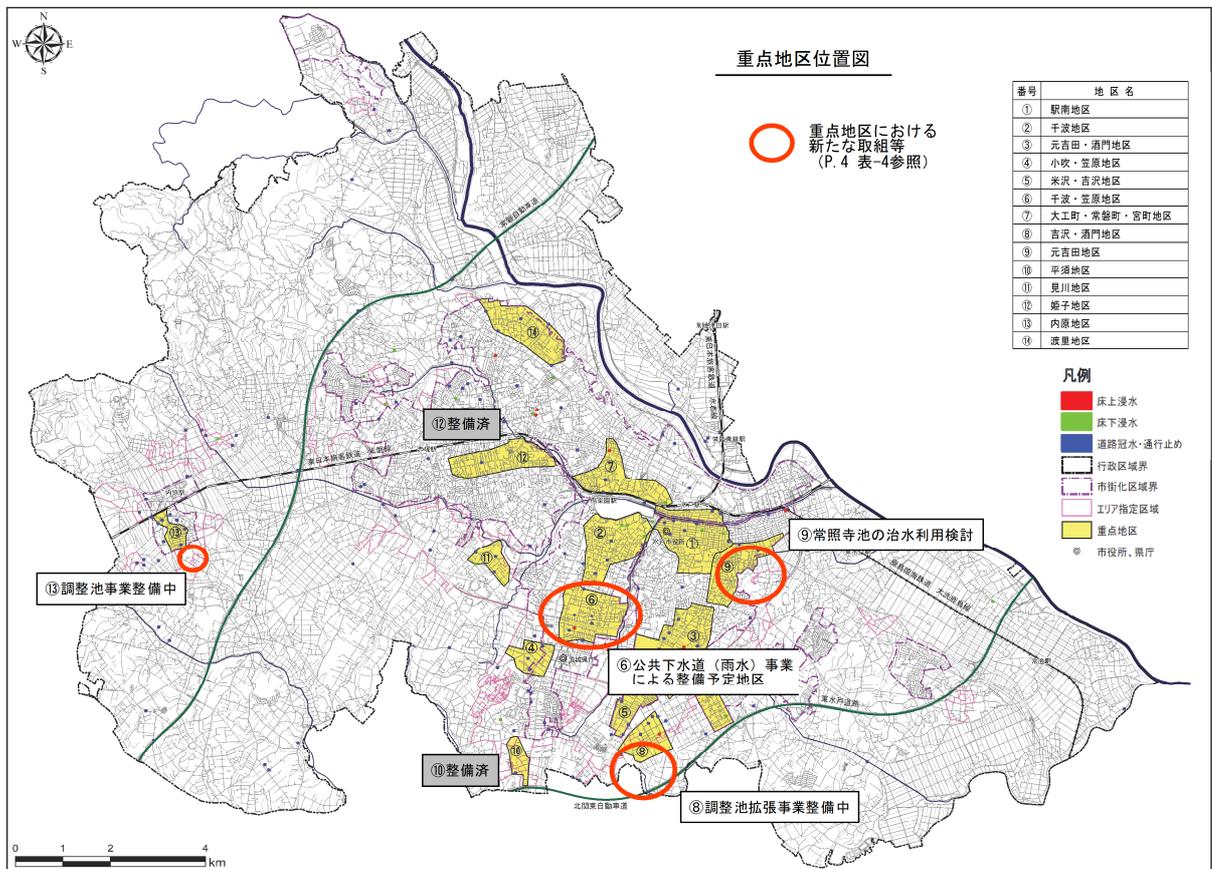


図-2 重点地区位置図

本プログラムでの重点地区における延長期間中の新たな取組等については、以下のとおりです。

重点地区名	事業種別					事業状況
	都下水	排水路	公共	流改	個別	
① 駅南地区	○		○		○	整備中
② 千波地区	○			○	○	整備中
③ 元吉田・酒門地区	○	○		○	○	整備中
④ 小吹・笠原地区	○	○				整備中
⑤ 米沢・吉沢地区	○	○		○	○	整備中
⑥ 千波・笠原地区	○		○	○	○	整備中 公共下水道（雨水）事業による整備予定地区
⑦ 大工町・常磐町・宮町地区			○		○	整備中
⑧ 吉沢・酒門地区		○			○	整備中 吉沢町・住吉町調整池拡張事業整備中
⑨ 元吉田地区	○				○	整備中 常照寺池の治水利用検討
⑩ 平須地区		○				整備済
⑪ 見川地区		○				整備中
⑫ 姫子地区						整備済
⑬ 内原地区	○	○		○	○	整備中 内原町調整池事業整備中
⑭ 渡里地区			○			整備中

表-4 重点地区における新たな取組等

#### ア 新たな公共下水道（雨水）事業計画区域の策定

新たな排水区で公共下水道（雨水）事業を計画するに当たっては、河川管理者との流末協議や全体計画の精査、事業計画の策定等が必要であり、工事実施に至るまでには複数年かかります。

そのため、「雨水管理総合計画」の策定後に公共下水道（雨水）事業の実施に向けた検討を始めると、「水戸市第7次総合計画」の計画期間中に新たな排水区での工事着手が難しくなることが予想されます。

以上のことから、浸水被害が集中して発生している地区においては、「雨水管理総合計画」の策定に先行して、公共下水道（雨水）事業の取組を進めてまいります。

